令和６年度　第１回北広島市商工業振興審議会会議録

<table>
<tr><td colspan="2">日　程</td><td>令和７年２月７日（金）</td></tr>
<tr><td colspan="2">場　所</td><td>３階　会議室 3D</td></tr>
<tr><td rowspan="3">出席者</td><td>委員
（6 名）</td><td>河西邦人委員、山田久俊委員、竹村画二委員、丹野司委員、
長島博子委員、池端有香委員</td></tr>
<tr><td>事務局</td><td>経済部長 橋本征紀、商工業振興課長 佐々木貴啓、
商工業振興課主査 勝谷亜美、商工業振興課主査　武山伍織、
商工業振興課主事 中野裕成</td></tr>
<tr><td>傍聴者</td><td>０人</td></tr>
<tr><td colspan="2">会議次第</td><td>1．開会
2．会長挨拶
3．議事録署名委員の選出
4．議事
（1）報告事項
【報告第１号】第２期商工業振興基本計画関連施策の実施状況について
【報告第２号】令和６年度の取組について
5．　その他
6．　閉会</td></tr>
<tr><td colspan="2">配布資料</td><td>・資料１　第２期北広島市商工業振興基本計画関連施策報告書
・資料２　令和６年度取組報告</td></tr>
</table>

1～3.　次第のとおり

4.　議事

(1) 報告事項

【報告第 1 号】第 2 期商工業振興基本計画関連施策の実施状況について

【報告第 2 号】令和 6 年度の取組について

＜質疑応答・委員からの意見等＞

委員　　基本施策 1-1「小規模事業者への支援」について、窓口相談件数が 1,049 件とかなりの件数であると思うが、相談内容はどのようなものか。

事務局　　商工会の窓口で相談を受け付けた件数となっている。税務や経理に関することや今の時期は確定申告に関することなど、手続きがスムーズになるように相談に乗っていると聞いている。

委員　　私ども消費者協会から 1 点お願いがある。基本施策 2-1「消費者へ企業情報の発信」について、市内で様々な事業等が実施されているが、我々市民が行けるようなイベントを開催する場合は、私ども消費者協会にも早めに連絡がほしい。協会内の話し合いで、「こんないいものをやっているのに会員の方々にお知らせできずに残念だ」という意見がよく挙がっている。

事務局　　イベント等を行う際、情報が集約されていなかったり、事前に分からなかったりすることで、お知らせの機会を逃していることもあり、行政でも周知が課題だと感じている。昨年、同様なターゲット向けのイベントが市内の別々の場所で同日に開催されていた事例があった。

現在、来年度 4 月から始まる主な団体のイベント等を取りまとめるイベントカレンダーの作成を準備しているところであるが、各団体から情報を集めたところ、日程が重なっているイベントがあった。

ファイターズの試合日を避けようとすると、そこで土日が重なってしまうので、例えば、子ども向けのイベントは一緒に行うなど、調整できるように現在、準備を進めているところである。

各団体と共有しながら、通年でのイベントを把握できるようにし、イベントに行ってみたいという空気が醸成できればいいと考えている。

委員　　基本施策 1-1「資金繰り等経営安定への支援」について、中小企業者等融資事業の融資実績と金額が書いてあるが、この予算の執行率は何%くらいになるか。

事務局　　予算執行率で回答すると 6 割弱となっている。枠としては最大 20 億円までお貸しできる中で、現状 12 億円を融資しているような形になっている。

委員　　商工業振興基本計画の 17 ページの通り、資金繰り支援等に関しては約 2 割の中小企業者が支援を希望すると回答している。

まだまだニーズがありそうだが、一方で基本施策 2-1「各種制度等の情報提供」の取組例には、ホームページや広報誌ほかメーリングリストの活用など、多様なツールによる情報発信とあり、実績として実際に行ったことが書いてあるが、基本計画の 17 ページの通り、約 5 割が支援制度を知らないと回答してい

る。

この結果から、市のホームページ、広報誌、メーリングリスト等の活用を行っていても、支援制度の情報がアンケート回答者でいうと5割の事業者へ届いていないと推測できる。

その辺りの改善策というのは、令和6年度及び令和7年度でどのようなことを行ってきたか、これからどんな計画があるかを伺いたい。

事務局　ご指摘の通り、今後いかに市内の企業の皆様に情報をしっかり正しく届けるかが課題であると認識している。

北広島商工会の会員がメインになるが、商工会と連携して、商工会の会報に市の情報を入れてもらったり、北広島市工業振興会を通して情報共有を行っている。

様々な関係団体等を通じて、各事業者の皆様に広く情報を届けるということをベースに行っており、市のホームページも活用して発信している。

また市内企業の皆様や金融機関からの意見で、当市の融資制度は他のまちと比べると非常にいいと評価をいただいている。せっかくいい制度を市で持っているのに、そこがなかなか利用されない、使われないというのは、行政としてもしっかりと使ってもらいたいという想いがある。

ご指摘いただいた事も踏まえて令和7年度は、発信の方法をもう一度見直して、様々な情報発信ができるよう検討させていただく。

委員　今更の質問になるが、中小企業者等融資事業の制度の詳細について教えてほしい。

事務局　市の融資制度は信用保証料の全額と融資利率 1%分を市が事業者へ補給する仕組みになっている。

最近の傾向だと、今申し上げた利率1%分と保証料の全額分を約250件、3,000万円ほど、毎年補給している。令和2年度にはコロナの影響があり国からの臨時交付金を活用して5年間分の一括補給を行った。

当市の融資については、上野市長が公約として掲げている施策になっており、市でも力を入れて取り組んでいる事業となっている。

委員　【資料2】「令和6年度取組報告」について、「ジョブフェス in きたひろ」というイベントが開催されたが、当日天候が悪かったにも関わらず約100名の参加があった。これは将来すごくいい形で進んでいくと思っている。

「きたひろ産業博覧会」開催時も、大雨だったがそれでも来場者がたくさんいた。天気だと尚良かったがいいイベントだった。

事務局　市内事業者の皆様と直接お話しする機会があったが、やはり雇用の問題と自社の PR 機会に対する支援希望があり、急遽、令和 6 年度にこの 2 つを開催することとなった。

「きたひろ産業博覧会」の参加企業については、昨年度は、20社程だったが、今年度は2倍の40社にご協力をいただいた。天候が悪い中でも来場者は約800

名となり、その前の年は天候がとても良く1,000名以上の来場があったイベントとなっている。今後も企業側の声を聞きながらよりいいイベントとなるよう検討していきたい。

委員　商工会では会員に2か月に1回必ず会報誌と各種税務関係の案内や融資関係の案内、弁護士の無料相談等の案内を送付しているが、他の団体と一緒に、イベントや税務、融資に関すること等を簡単に通知できるよう、デジタル対応を検討しているので、実施の際には委員の皆様にもご協力をいただきたい。

委員　市融資制度は商工会に入っていない方も利用できると聞いている。ダメ元でのお願いと承知しているが、融資制度への申込は商工会窓口で行っていることもあり、何らかの形で商工会への入会を条件にできないものだろうか。

というのも、市内には様々な事業者が参入されていると聞いてはいるが、商工会を辞めていく方もいて、なかなか会員が増加していない。これから更に減少していく可能性に歯止めをかけたい部分もあり、お力添えがほしいと思っている。ただ、市で行っている事業なので、難しいとは思うが、何かアイディアはないだろうか。

また、まちづくりやイベントについて、ここ2～3年は、エスコンが来て非常にいいまちづくりとなっているが、エスコンを中心としたまちづくりになりがちなのかと思っている。

元々の事業者がいる中でのイベント等があったらいいと感じている。全てがエスコンを中心としたイベントになっているような感じが見受けられるので、そうならない形もあった方がいいと思う。

事務局　地元の経済団体である商工会は、重要な存在であると認識しており、会員数が年々減少しているという話も伺っている。

融資事業で商工会加入という条件のアイディアをいただいたが、融資に限らず、何か他にできることはないか手法も含めてどういった力添えができるか検討させていただく。

ファイターズ中心のまちにしたいということではないが、ファイターズのおかげで色々な人が来るようになったのは事実と認識しているが、いかにそれを地元の方々に返すかというのが大事になってくると考えている。

また、ずっとこの北広島で商売をされてきた方々も当然大事にしたいので、だからこそ、商工会や観光協会、色々な各種団体と手を組んで、何か仕掛けられないか話し合いを重ねている。

その中の一つが先ほど申し上げたイベントカレンダーとなる。皆さんと一緒に考えていこうという機運もあるので、そこも大事にしながら、一緒にまちをよくしていきたい。

委員　私も「きたひろ観光協会の企画委員会」と「Fビレッジとゆかいな仲間たち」という2つの組織に参加する中で、イベントがたくさんある為に自分たちも把握しきれず、ブッキングさせてしまうことが課題となっていた。

自分たちで集約マップを作成する話も出ていて、そのプロジェクトが進むかというところなのだが、細々と色々なマップがあるより、市の方でカレンダー等を作成されるということであれば、それを大元に、横の繋がりを濃くして、それぞれのプロジェクトと手を組んで魅力的な１つを作っていけたらいい。

事務局　今、「企画委員会」と「F ビレッジとゆかいな仲間たち」のお話があって、本当に有難いことにボールパークが開業してから、外部団体の活動が市内に広く展開されていることがよく見えてきている結果だと思う。これまでは特定の団体が賑わいを生む取組を進めていたが、その取組が色々な分野に広がっている。これはまちの強みなので、非常にまちとして元気になっていく一助だと思っている。

ボールパークが開業して 3 年目のシーズンを迎えることとなるが、やはり色々な部分で何か改善を加えないといけないことやもっと情報発信を行った方がいいことも出てきている。

その辺を少しずつ改善しながら団体の活動を通して、「まちを PR する」「来ていただく方々におもてなしを提供できる」「来ていただく方にまた来たいと思っていただく」ことに波及していくことが目指す取組の一つだと思うので、そうした視点を持って取り組みたい。

委員　色々なイベントが行われているが、重なってしまう問題に対して、調整をして一緒にやっていくというのは非常に素晴らしいことだが、それを調整する場はあるのか。

事務局　実は早速来週、まずは商工会、観光協会、福祉会等、独自でイベントを行っている団体と市役所の各部署の関係者で 1 度会議を行いスケジュールの作成に向けて動き出そうとしている。

まずは一旦集まって動かしながら、情報をどんどん入れ込んでいき、うまく一つで共有できる形にして情報発信をしていく流れを考えている。最初から完璧とはいかないが、少しずつどんどん仕上げていければいいと考えている。

委員　小さく始めて、改善しながらよりいいものにしていってもらいたい。

最終的には、例えば北広島市内で行われているイベントカレンダーを市役所のホームページに出したりできると皆さんで情報共有しやすい。また、参加者が増えるかもしれない。

事務局　まさにそれを準備している。一つの共通フォーマットを作成して、例えば、3 月のイベントであれば、2 月の頭には 3 月のイベントですと発信したい。

1 か月前に情報を発信するので、例えば、会報を発行する前には情報を出すので、お知らせしたいイベントについて、団体毎に自分で拾ってもらいお知らせしていただく流れを作りたい。

昨年、色々なイベント等を行ったが、知らなかったというお声が圧倒的に多く、やはりそのような点は改善できるようにしたい。

委員　　それぞれのプロジェクトの中で自分たちが空いている日に独自にイベントを行うのではなくて、同じ日に開催する団体がいくつかあるなら、市内を巡ってうまく回遊してもらいながら、どのイベントも楽しんでもらえるように繋がりができたらすごくいいよね、という話があった。

もし、イベントカレンダーができて、同じ日にイベントが開催でき、そこで関係性ができあがっていたら、共同でチラシなどプロモーションを作り、両方を巡ってもらえるような時間設定にしようとか、午前と午後で分けようとか、そのようなことができたらみんな得すると思う。

事務局　　同じターゲットだけど、午前開催、午後開催というイベントがあった場合、お互い相互送客できるようにしようとか、スタンプラリーを仕掛けて、3 つ回ったら景品贈呈とか、出来そうなアイディアがたくさん出ているので、工夫はどんどんしていきたい。

数年前、観光協会で行っている酒まつりと三井アウトレットパークで行っているイベントとエスコンのパンまつりか何かで、色々な地区で同時期にイベントが行われたのだが、その時は、その 3 つのイベントを周遊するスタンプラリーを実施し、周ったら景品をお渡しする取組を行った。

そのようなことも過去に行っているので、同時期でうまくプラスに働く仕掛けもできるかと思うので、どんどんチャレンジしていきたい。

委員　　キャッシュレス決済ポイントキャンペーンについて、昨年、当初の予定は 2 回と記憶をしているが、3 回行ったということは、目標の金額に達しなかったからか、もしくは好評だったからか教えていただきたい。

事務局　　元々は、2 回か 3 回のどちらかと思っていた。予算の状況を見てもう一度開催できるほどの予算があったので行ったという形となる。

ただ、正直申し上げると、想定よりは実績が少なかったというのが事実である。見込みより少なかったため、3 回目も実施してみようと行ったものである。

委員　　やはり高齢者には使い勝手がよくなかったようだ。今年行うか分からないが、実施するとしたら改善する部分はあるか。

事務局　　昨年、キャッシュレスキャンペーンを行った背景として 2 点あり、1 つ目、時代的にキャッシュレスが進んでいるということ、2 つ目、物価高騰でそもそも印刷代や郵送費が上昇している為、紙で商品券を発行すると事務的経費がかなり高くなるというところがあり、特に郵送費がかなりのウエイトを占め、プレミアム分に近い金額まで経費が上昇してしまうことが分かった。経費を抑えながら、市民の皆様、利用者にお返しするプレミアム分を増やすにはどうしたらいいかと考えた時に、デジタルを使った方がいいということで施策を打った。

以前は、紙のプレミアム商品券を発行しており、特に高齢者はその方が使いやすい方がいるのは事実である。そこをどうするかとなった時に、昨年度については、高齢者の方々を対象とした別の施策を 1 つ打つことで、市で初めてキ

ャッシュレスキャンペーンを実施した。

ただ、ご指摘いただいたように課題もあり、そもそも知らないという方が多かったこと、使用できない方はどうするのかということ、仕組みの特性上として、例えばPayPayだと、アプリの中でしか告知されないので、実施していることになかなか気づいてもらえないという課題があった。

今年度以降実施するのであれば、個別ポスティング等で市民へ事業の概要を周知、分かりやすいヘルプデスクや相談窓口の設置など、昨年度行った内容から改善しながら実施したい。

来年度に紙で実施する際の試算を行ってみたところ、紙の価格上昇、印刷代や郵送費の高騰により経費が更にかかってしまうことが判明した。従来の紙の商品券の方法だと、個別にはがきを送付して、そのはがきを持って商品券を購入しに行く仕組みとなっており、2 万件くらいの郵送費がかかった分そのままダイレクトに費用に跳ね返るので、郵送費だけで何百万という費用がかかるが、デジタルの仕組みを使用すれば、かかるはずだった経費がカットされ、プレミアム分に戻すことができる。

一方でデジタルを使用できない方をどうするのか、という問題はどうしても出てくるので、別の施策でカバーする等、検討していく必要がある。

5. その他　　なし

6. 閉会